

序論 教養記述対策について

1. ほとんどの職種で出題される

裁判所事務官を除く専門職種は× 例：法務省，国税・財務，労基

国大大学法人等職員×

ほとんどの地方公務員は○

2. 論文と作文の違い

- ・論文…社会の問題に対するもの

例：福祉，教育，環境，観光，

- ・作文…自分の想い・考え

例：「目指す公務員象」「あなたが○○職員になったらやりたいこと」

3. 制限字数・制限時間

もつとも短いもので400字（30分）から，長いもので2000字，あるいは字数制限のないものまでと様々。平均的には60分，800～1000字というところ。

4. 教養記述で問われること

受験者の勤労観・文章能力および理解力などを通じて、知性・教養・事務能力（文章作成能力）を総合的に判断する



- ・問題文の読解
- ・問いに答える
- ・自分で考える
- ・考えを伝える

5. 「読みやすい」かどうかが超重要

∴1 通あたりの採点時間はほんの数分

①日本語として正しく書けている（句読点，文字，主語述語，常体敬体）

②採点者が予定（予想）しているパターン（順序）

③問いに答えている

④論理性 二段階構成が基本

問題点＋解決策

事実＋意見 ※事実と意見を書き分ける

⑤相手に予断を与える

番号（数字）をつける，見出しをつける

⑥1 文は短く。1 つの「。」には 1 つの内容

⑦「心の問題にする」と「過去に意見する」は NG

⑧具体的≠具体例

⑨作文の場合の注意点

面白い話題を選ぶ

事例を具体的に示す（いつ，どこで，誰が，何を…）

事実と意見を書き分ける

自分の意見や態度を明確にする

発展的・建設的な結論にする

6. 教養記述対策としてすべきこと

①文章を読む

②手を動かす

③ネタの仕入れ（時事対策）

④とにかく書く

本講座の活用方法

- 1 問題文を読む
- 2 できれば何も見ずに自力で書いてみる（書けなくても1時間
答案用紙の前に座る）
- 3 参考答案を読む
- 4 講義を聞く
- 5 必ず**自分で**答案を書いてみること
ムダのなく効率よく≠楽をする・サボる